### 点在する観光地を自転車で巡る。 意外に多くの名所旧跡がある。 常総線 関東鉄道

松澤美穂 文・写真

でいる。

客に向けた無料レンタサイクルにも取り組ん 便性を考えた取り組みを実施。加えて、観光 道に乗り換えるシステム)など、利用者の利

イドシステム(駅に駐車場を設け、車から鉄

関東鉄道だが、その沿線には 主に通勤・通学に利用されている

地図を頼りに寺社巡り

ている常総線水海道駅に向けて出発。

ングを楽しむべく、レンタサイクルを実施し

沿線にはどんな見所があるのか。サイクリ

の孫娘千姫ゆかりのお寺である、弘経寺へ。 観光ガイドマップを頼りに、まずは徳川家康 換えができる守谷からは3駅で水海道駅に到 着。さっそく駅員さんから自転車を借り出し、 取手から10駅、つくばエクスプレスと乗り

住職さんが。 店に飛び込むと、偶然にもそこには弘経寺の あわてて道を尋ねようと近くにあった工務 自転車をこぐうちに、気がつけばすっかり道 渡る。豊かな緑に目を奪われつつ気持ちよく

駅前の小さな商店街を走り抜け、鬼怒川を

に迷ってしまった。

ら一分くらいです。ゆっくりお参りしていっ あっという間に無事到着。 てください」と丁寧に道を教えていただき、 「前の道をまっすぐに、自転車ならここか

り」の際には野点や千姫行列で賑わうという

毎年、春に行われている「水海道千姫まつ

内に持ち込むことができる)や、パーク&ラ **上** 辺住民の通勤・通学を支える関東鉄道 きわ厳粛な気分にさせられる。 境内も、平日のこの日は他に人気もなくひと 本堂の左奥にある千姫の遺骨の

命長寿の南門から入ってお参り。 木々が連なる長い参道の風情に惹かれて、延 孫繁栄には西子安門、厄除けなら中門となる。 あり、祈願内容によって通る門が異なるらし 観光ガイドによれば、安楽寺には4つの門が は迷うこともなく安楽寺(元三大師)に到着。 い。福禄祈願には東門、延命長寿は南門、子 再び自転車を走らせること約15分で、今度

郷天満宮が見えてくる。 さらに10分。一面に広がる田んぼの中に大生さらに10分。 参道を吹き抜ける涼しい風に一息ついて、

る天満宮。せっかくなので、説明に従って、 込められているのか。さすが学問の神様を祭 がつくといわれているとある。「茅の輪」で ぐると穢れを祓うだけでなく、ますます知恵 の輪」の「ち」は知恵の「ち」でもあり、く るのか、本殿の前には茅の輪が置かれている。 を田んぼと数件の住宅、鎮守の森に守られる はなく、「ちの輪」とあるのはそういう意味も 近づいて説明を読むと、大生郷天満宮の「ち 天満宮の一つとされる大生郷天満宮は、周囲 ようにして、ひっそりとたたずんでいる。 穢れを祓う神事、「茅の輪くぐり」が行われ 北野天満宮、太宰府天満宮と並ぶ日本三大

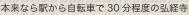
# 「ちの輪」をくぐって知恵をつける

返っていた。 られた廟所も、 木々に囲まれシンと静まり 一部が納め

#### 関東鉄道【かんとうてつどう】

常総線(51.1km)と竜ケ崎線(4.5 km)の2路 常総線は JR 常磐線・取手駅と JR 水 下館駅を南北に結び、 と竜ヶ崎駅を結ぶ単線で、明治33年に開業 た茨城県で最古の民鉄線として知られる。





に戻ろうか

きた一日だった。

旧家の風情を堪能して、さて、そろそろ駅



茅葺屋根がりっぱな坂野家住宅

け、水海道風土博物館として一般に公開した。 いるのを、平成10年、市が坂野氏から譲り受 中に100坪以上の大きな屋敷が建てられて あったという。1ヘクタールにも及ぶ敷地の 時代に成功を収めた、地方の名主的存在で 坂野家はこの地に土着して500年。 江戸 道路沿いに設けられた広い駐車場に自転車

られ、当時の坂野家の隆盛をしのばせる。ふ りの欄間や床の間を備えた3つの客間が設け 府の役人を出迎えるための式台や、透かし彫 本家屋の中に入る。 あるらしい ドラマや映画の写真パネルがずらり。母屋や と納戸をのぞくと、坂野家で撮影が行われた 門はもちろん、屋敷を囲む雑木林や竹林も、 大河ドラマなど時代劇のロケ地として人気が 門をくぐり、茅葺屋根のどっしりとした日 広々とした母屋には、幕

8を横に描くように輪を3回くぐる。これで 私にも少しは知恵がついただろうか?

坂野家 住宅

# 風情ある旧家は格好のロケ地

が随所に立てられている。 坂野家住宅」。大生郷天満宮からは案内標識 化財の指定を受けている「水海道風土博物館 サイクリングの最終目的地は、国の重要文

らもおいしく、味比べは引き分けに。 屋」、さくさく軽い触感の「いおり庵」。 今回は断念。しっかりした歯ごたえの「天の 駅近くの「いおり庵」でもお買い上げ。そう よれば、昔はもっとたくさんの煎餅屋があっ 煎餅」「大学煎餅」と書かれた看板があったが いえば最初に行った弘経寺の近くにも、「千姫 たとのこと。味比べをしようと、もう一軒 ひき煎餅」をお土産に購入。お店のご主人に お煎餅の「天の屋」に入って名物の「あと

## 緑の中を走る

を停め、敷地内を歩いて行くと、竹林の向こ

うに屋敷を囲う土塀と茅葺の立派な門が見え

てくる。

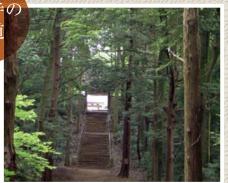
から下妻駅までの8駅間、 てみることにした。 駅員さんに自転車をお返しして、 車窓の旅も味わっ 水海道駅

の緩やかなリズムに、ついうとうととするう 電車からは、右も左も緑色の景色を楽しめる 両はない。田んぼの中を突っ切るように走る 駅から先が単線区間となるため、すれ違う車 るとすぐに田んぼが広がる。常総線は水海道 サイクリングの心地よい疲れと、各駅停車 自転車でも電車でも、 各駅の周辺には住宅地があるが、走り始め あっという間に下妻に到着 一面の緑を大満喫で

## 米どころのお土産は

お煎餅屋さんがある。米どころである水海道 駅前の商店街には、 お煎餅や日本酒が特産品なのだ。 狭い範囲に2~3軒の

### 安楽寺の 参道



延命長寿の南門につながる安楽寺の参道



大生郷天満宮のちの輪



大生郷 天満宮